

上川萬石の礎

村民一九七の米づくりとなりました。

農機具の発明や初の品種改良など上川稲作のパイオニアとなりました。

明治二十五年八月、旭川兵村に入植した屯田兵とその家族。上川稲作の原点(パイオニア)になった人びとだ。過酷な開拓の中、不適さされた稲作に一九七となつて挑戦した村人である。今年、当館の財団設立三十周年を記念に開催した特別展「上川百万石のあゆみ」も、この展示をテーマに背景に米作りに向けた村人のなみなを思いや英知の数々を展示している。

旭川兵村の米作りは、入地早々から幾人もの屯田家族が担い持ち込んだ稲作で試作を行ったが中でも第四中隊家族の藤田貞元(元津藩藩主)は稲作に反対する屯田兵司令部や中隊長を説得して上川最初の瀬瀬開き(明治二十七年)にこぎ着け、その苦闘の様子は水田狂と呼ばれて特筆されている。これにより兵村の第一給与地(毛地)は十年も経たずに全域が造田され、その面積も他兵村の三倍(当麻兵村)から六倍(永山兵村)と群を抜いて急速に広まった。また不可能とされた北海道の稲作をさらに発展させたのも旭川屯田の家族で、次々に行つた農機具の発明だ。その「三ツ井武安次郎・マス夫妻が協力して考案した水

稲直播機(タコ足)。一つ目は専門手(我吉)によるタコ足、二つ目は専ら門下(我吉)が当時、武安次郎の考案した初まりなどの農機具を動力によって回転させる馬動力(横原)であった。これらの旭川屯田が稲作に果した努力は類まれで「上川百万石の礎」と呼ぶにふさわしく、後継の空知方面や道東道北方面の稲作普及にも大きく貢献している。

「財団設立三十周年記念」より

■ 屯田兵 とんでんい [a farmer-soldier]

屯田兵とは、明治時代に北海道の警備と開拓にあつた兵士とその家族である。明治7年に制度が設けられ翌年から実施、明治37年に廃止された。

▲ 屯田兵のルーツ [旭川の屯田兵]

旭川村の屯田兵は、明治25年(1892) 屯田兵第三大隊の第三中隊と第四中隊の屯田兵とあわせて、400人2,331人が入地している。練兵場を開拓した屯田兵は、午前中は軍事訓練をうけ、午後は家族と農作業に励んだ。

【村の結果】 授産場でわら工作とほう



▲ 当時の状況 [酷寒との闘い]



入植時の旭川兵村は、一月二月ともなると氷点下三十度以下の目が幾日も続き、平均気温も今日とくらべて五、六度は低いものであった。開拓の苦労話にも、あまりの寒さのため、朝布団から出られない年寄りや、寒さにまつわる話がたくさん残っている。当初、兵屋に用意された暖房具は、炊事を兼ねた大きな囲炉裏だけで、寒中でも就寝時には炭を寄せて火にするため、家の中の気温は外気とほとんど変わらなくなった。その上、天井が吸られていなかったもので、暖気は、をぬけるようなものだった。

▲ 北海道の米づくり [直播法]

本州の稲作は、苗代で育てた苗を移植する方法が普及しているが、昭和初期までは北海道では直播法が普及した。北海道でもはじめは本州方面の移植法を行つたが、気温の低い北海道ではうまく実がつかなかった。そのため、水田に水を入れると手播きによる直播が行われたのである。



【たこ足による播種】▲ 水稲直播機の急激な普及により、北海道の水田はほとんどが直播法になり、直播機の考案も多く、昭和初期までに数十機に及んだ。

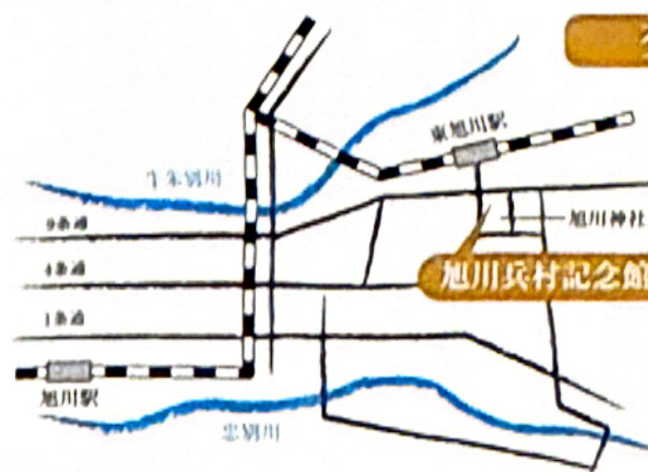


先人がそこに生活していた兵屋の実物を使用して再現した生活パノラマと、苦勞の中にもしたたかに開拓に挑んだ先祖たちの姿が、思い浮かばれるくらしの数々。



旭川兵村記念館のあゆみ

- 昭和36年 8月 東旭川町開基70周年を記念して旭川神社境内の若宮八幡宮拝殿に郷土資料を展示して発足した。
- 昭和53年 6月 旭川兵村記念館新築期成会が結成。
- 昭和55年 6月 財団法人の設立が許可。
- 昭和56年 2月 当館所有の屯田中隊記録および屯田物語原画綴りが旭川市文化財として指定される。
- 昭和56年10月 記念館全館竣工。
- 昭和57年 3月 博物館法第29条による博物館相当施設の指定を受ける。
- 昭和57年 4月 開館式、一般公開
- 昭和60年 5月 日露戦後80年特別展開催
- 平成11年 5月 財団設立20周年記念特別展「屯田兵のこころと声」開催。
- 平成17年 5月 特別展「永遠の花嫁」(靖国神社所蔵)開催。
- 平成18年 4月 特別展「暮らしの中の日の丸」開催。
- 平成18年 6月 郵政省年賀寄付金による屋根塗装工事実施。
- 平成20年 4月 特別展「日本最北の電車が走った町」開催。
- 平成22年 4月 財団設立30周年記念特別展「上川百万石へのあゆみ」開催。
- 平成23年 4月 特別展「兵村に生きた画家たち」-桂斎と雪洲-開催。
- 平成24年 4月 財団法人から一般財団法人に改組、設立認可
- 平成28年 3月 屯田兵絵物語一点 附屯田絵巻四点道指定有形文化財に指定



交通アクセス

入館料

大人	500円
高校・大学生	400円
小学・中学生 身障者	200円

●20名以上は100円引きです。

北海道旭川市東旭川南1条6丁目3-26
TEL.0166-36-2323
FAX.0166-36-5272

開館期間 4月下旬～10月下旬

開館時間 午前9時30分～午後4時30分

休館日 毎週火曜日

(休館日と国民の祝日が重なる場合はその翌日を休館日とします)

家具・建具金物の事なら
おまかせ下さい

(有)テツド

東旭川北1条3丁目1-36
TEL:0166-36-5150



株式会社島田畜産

砂利・砂・火山灰・庭土・庭石
特許門柱・屏工事一式

T.36-1483
株式会社イサミ

旭川市東旭川町旭山